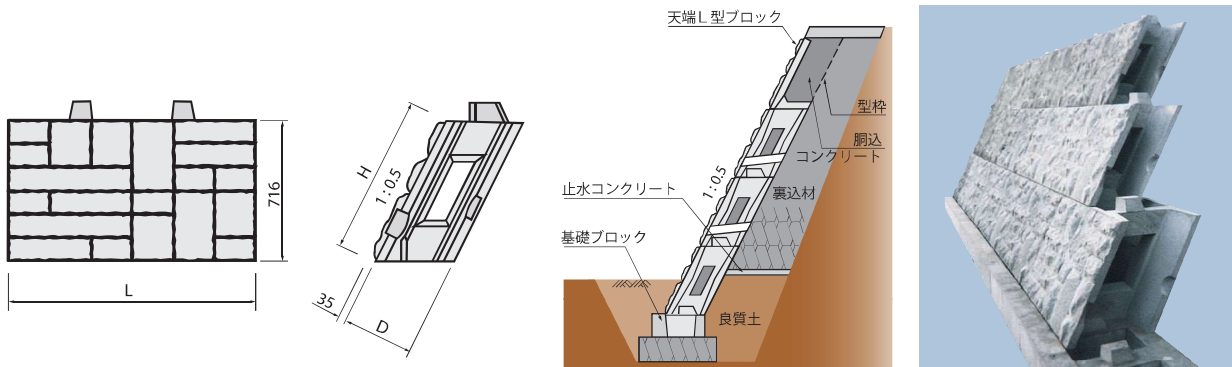
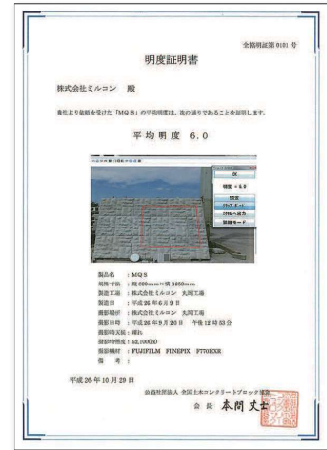


特長

- MQSブロックは、表面寸法が幅1.25m・法長0.8mの1平米タイプの大型ブロックです。
- このブロックは施工時に自立するよう設計されています。(5分勾配時)
- 従来型製品に比べ5倍~8倍の量の胴込コンクリートを使用するため、強固な練積み擁壁を形成できます。
- 水抜き孔は、製品の左右にノックアウトタイプの切欠きを設けていますので、必要に応じて2~3平米に1ヶ所の水抜きパイプを簡単に設置することができます。
- 国土交通省新技術情報提供システム【NETIS】においてVE登録、ならびにJIS認証も取得しています。
- 国土交通省策定の「美しい山河を守る災害復旧基本方針(平成26年3月)」で規定されている明度6以下に該当するブロックです。
- 塩害地域でも使用可能なブロックです。(一部製品を除く)



呼び名	寸法 (mm)			胴込量 (m³)	参考質量 (kg)	呼び名	寸法 (mm)			胴込量 (m³)	参考質量 (kg)
	D	H	L				D	H	L		
350	350			0.197	393	1500	1500			1.101	971
500	500			0.332	427	1750	1750			1.197	1328
550	550	800	1250	0.378	438	2000	2000	800	1250	1.403	1429
750	750			0.512	588	2250	2250			1.610	1529
1000	1000			0.733	655	2500	2500			1.817	1630
1250	1250			0.889	880						

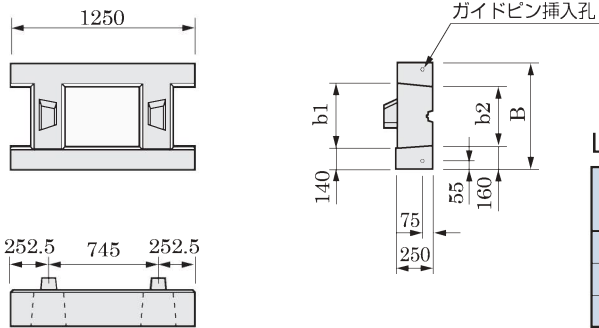
- L1/2 (長さ) 製品対応可能です。控え350~550についてはH(高さ)1/2、LH(長さ・高さ)1/2製品についても対応可能です。
- 控え350については、3分勾配、4分勾配対応可能です。営業担当者へご相談願います。

# MQS用基礎ブロック

控え 350~550用

擁壁製品

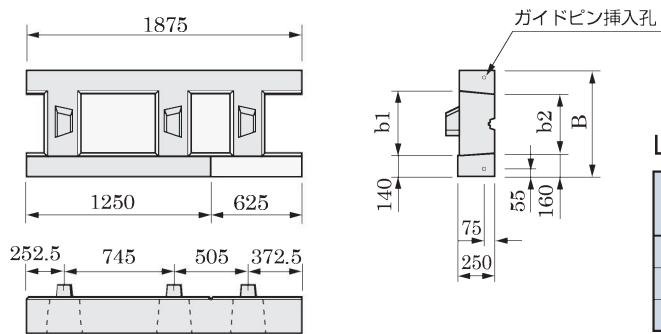
## L=1250



## L=1250

呼び名	寸法(mm)			胴込量 (m <sup>3</sup> )	参考質量 (kg)
	B	b1	b2		
350用	550	320	280	0.058	255
500用	720	440	400	0.081	317
550用	775	495	455	0.092	329

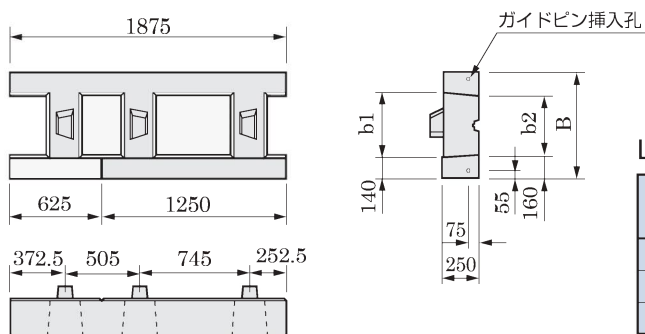
## L=1875L



## L=1875L

呼び名	寸法(mm)			胴込量 (m <sup>3</sup> )	参考質量 (kg)
	B	b1	b2		
350用	550	320	280	0.086	382
500用	720	440	400	0.122	476
550用	775	495	455	0.139	495

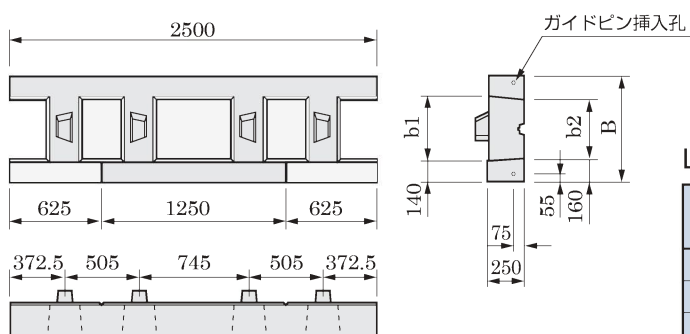
## L=1875R



## L=1875R

呼び名	寸法(mm)			胴込量 (m <sup>3</sup> )	参考質量 (kg)
	B	b1	b2		
350用	550	320	280	0.086	382
500用	720	440	400	0.122	476
550用	775	495	455	0.139	495

## L=2500

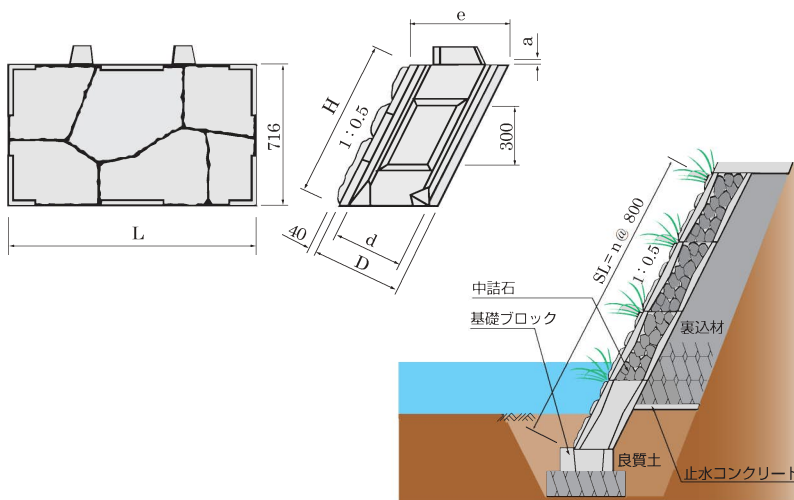


## L=2500

呼び名	寸法(mm)			胴込量 (m <sup>3</sup> )	参考質量 (kg)
	B	b1	b2		
350用	550	320	280	0.115	508
500用	720	440	400	0.163	635
550用	775	495	455	0.185	660

特長

- MQSグリーンは、表面寸法が幅1.25m・法長0.8mの1平米タイプで、平均明度が5.5の大型ブロックです。
- このブロックは施工時に自立するように設計されています。このため、サポートで地山から支持する必要がなくなりました。
- 中込め材に客土を使用し、前面にスリットを開けることで、緑化を可能にしています。
- 前面には着色も可能で、景観保全にも配慮することができます。



呼び名	寸法(mm)						胴込量 (m <sup>3</sup> )	参考質量 (kg)
	D	H	L	a	d	e		
500	500	800	1250	6	380	565	0.276	573
500 L1/2			625				0.119	329

## 特長

- ランドセル工法とは、現場打コンクリートを打設して一体化される「もたれ式大型積みブロック」の背部に、耐腐食性の「背面材(エクスパンドメタル)」を取り付け、その内部に自重として有効利用する「裏込材(裏込碎石)」を充填したもたれ式擁壁です。
- 「連結筋」の長さを任意に調整して自重の増減を図ります。
- 裏込材が100%自重となるため、積みブロックの控え長さが短くなり、ブロックの重量や現場打コンクリートの量が大幅に減り、従来の積みブロック擁壁に比べ「10%以上のコスト縮減」を実現することができます。

## 安全性

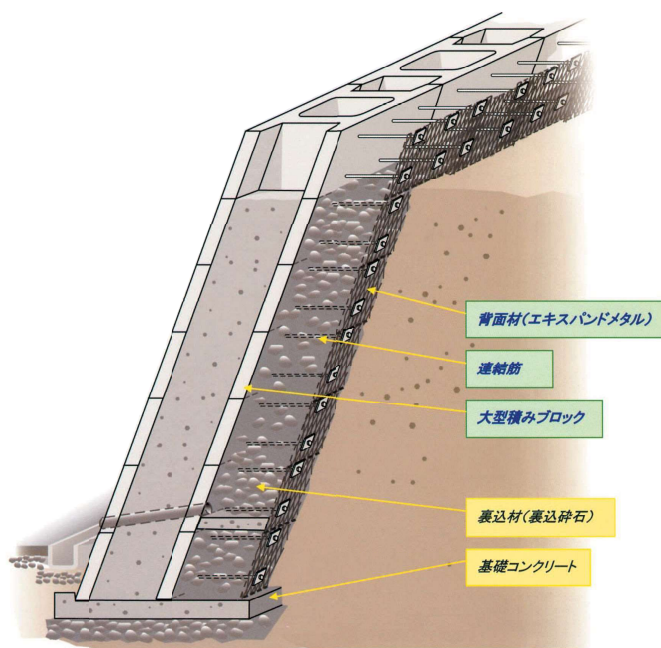
裏込碎石が全て自重となって、土圧に抵抗します。

- 転倒・滑動の安全率が向上し地盤反力が小さくなります。
- 枠材の控え長さを調整することにより土圧を低減させる事ができます。
- 裏込碎石が多く充填されることにより排水性能が向上します。
- 枠材は実績の多い耐腐食性の溶融亜鉛めっき仕上げで安全です。
- 生コンクリートの充填により積みブロック擁壁が一体化されます。

## 経済性

従来工法に比べ、10%以上のコスト縮減が可能です。

- 控え長さを調整することにより、他の同様の擁壁に比べより経済的な構造物となります。
- 特に切土部の現場で使用した場合、掘削断面を削減させる事ができます。
- ブロック自重が軽くなることにより、クレーン費が安く、しかも施工能率が向上します。



■背面材を組み立てた例



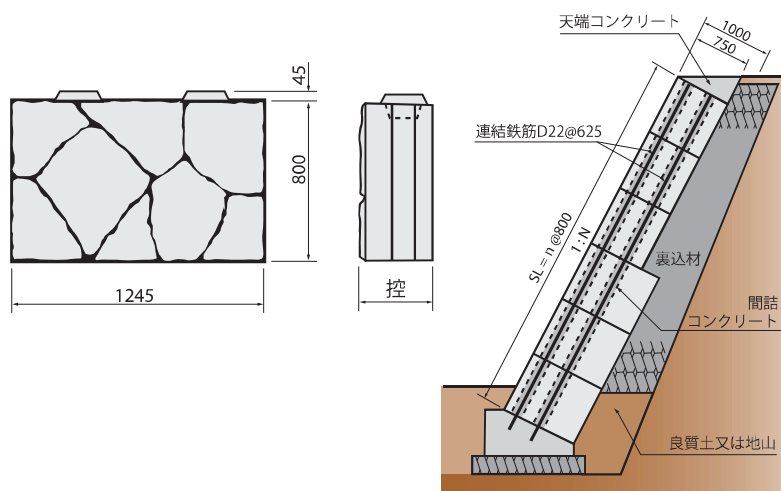
■一段目の裏込碎石充填状況

## 施工例



## 特長

- オリジナル・ロック・スーパーは、幅1.25m、高さ0.8mで所定の控え厚(0.35m、0.50m、0.75m、1.00m、1.25m)を持つ、明度6以下の大型積みブロックです。連結鉄筋用の孔2ヶ所と吊具用の孔1ヶ所を有しており、基礎コンクリートから立ち上げた連結鉄筋にブロックを差し入れ、その孔に間詰コンクリートを充填することにより強固なもたれ擁壁を築造します。
- 表面寸法1m<sup>2</sup>(1250X800)で、専用の吊具により積み勾配に応じた傾斜でブロックを吊り上げることができ、施工能率を大幅に向上させることができます。



幅 X 高さ (mm)	控え (mm)	胴込量 (m <sup>3</sup> )	参考質量 (kg)	控え (mm)	胴込量 (m <sup>3</sup> )	参考質量 (kg)
1250 X 800	350	0.0413	729	1000	0.1791	1907
	500	0.0446	1066	1250	0.1939	2448
	750	0.1674	1359			

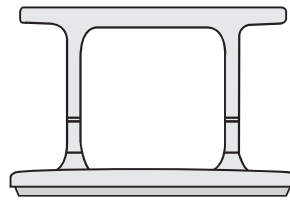
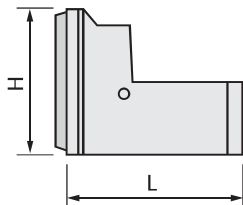
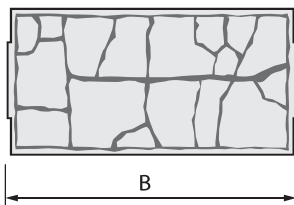
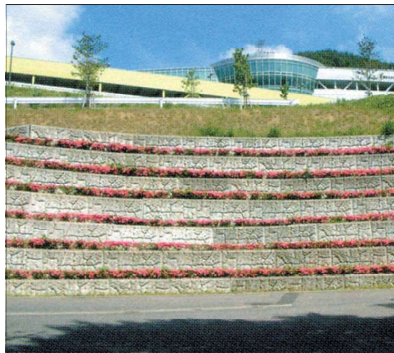
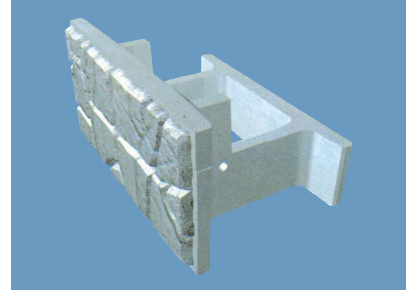
●H(高さ)1/2、L(長さ)1/2製品についても対応可能です。

# 箱型擁壁

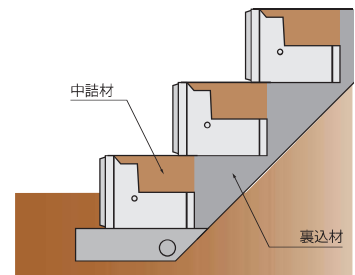
控え 750~1250

## 特長

- 箱型擁壁は、箱型形状をしたプレキャスト材と中詰材(単粒度砕石、コンクリート廃材等)を用いて、階段状(寺勾配)に積み上げる擁壁です。
- フレキシブルな構造であるため、地震時の土圧に対して壁体が微小に挙動することで発生する応力を減少させ、擁壁のひび割れや崩壊を防止します。また、地盤反力が比較的小さく、基礎地盤、背面土の不同沈下にも追従性を発揮して、擁壁全体の安定性を保持します。
- 施工現場では、鉄筋、コンクリート、型枠などの特殊作業をほとんど使用しないため、大幅な工期短縮によって経済性の向上が図れます。
- 本体の上下・左右が連結されずに独立しているため、カーブ施工が容易です。
- 各小段を利用しての植栽、あるいは自然緑化等で生態系保全にも配慮できます。



平面図



呼び名		寸法 (mm)			参考質量 (kg)
		B	H	L	
S	A 型	2000	500	750	485
M	A 型	2000	500	1000	515
L	A 型	2000	1000	1250	1304
	Ah 型		500		784
	B 型	1500	1000		1028
	Bh 型		500		698

# ワイドウォール工法

NETIS

No.SK-050012-A  
【掲載終了商品】

## 特長

道路の1.5車線化等に最適です。

■1.5車線の道路整備とは、交通量の増加が想定できない山間部などの1車線道路に、部分的に待避所等を設けて2車線と同じ効果を得る道路整備のことを指します。このような整備を行うことによって経費削減を図るものであり、現在各都道府県において検討と実行がなされています。

ブロックを積み上げると同時に道路拡幅が完成します。

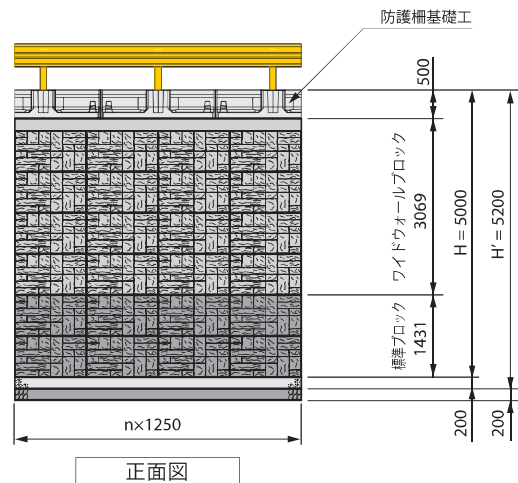
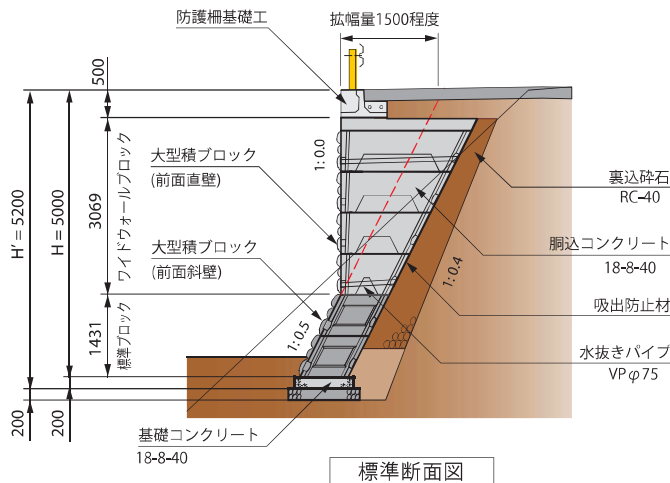
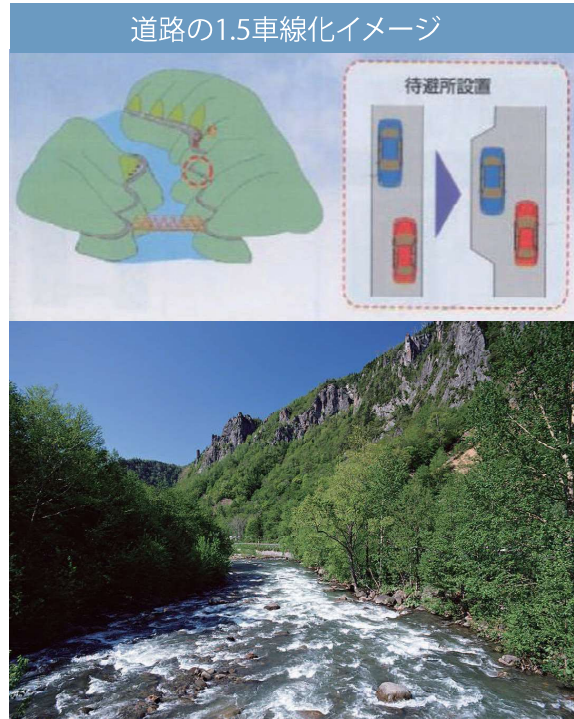
■ワイドウォールブロックを4段積み上げることで、拡幅が可能。また、宅地造成に使用すれば用地面積が広がります。  
※ワイドウォールブロックの積み上げ段数は、条件に合わせて1段積み～4段積みまで対応可能です。

地山掘削量が他工法と比べて大幅に減少でき、経済的です。

地山傾斜のあるところでは、従来工法よりブロック高が小さくて済み、経済的です。

ブロック下段部には従来製品の大型積みブロックを使用します。

道路の1.5車線化イメージ



## 施工例



## 特長

- エコボックスは、積み重ね方法により、もたれ式擁壁タイプ・重力式擁壁タイプ・緑化タイプと現場条件に合わせた工法が選択できます。
- 表面は景観性を重視した粗面模様で、あらゆる現場に対応します。また現場条件に応じて、擬石・本石張り・洗い出し等にすることができます。
- 隣接ブロック間の胴込コンクリートにより一体化され、中詰材は現地発生土・砕石・コンクリートの使い分けが可能です。
- 一体構造なので、現場打ちもたれ式擁壁や井桁擁壁等に比べ、工期の短縮が図れます。



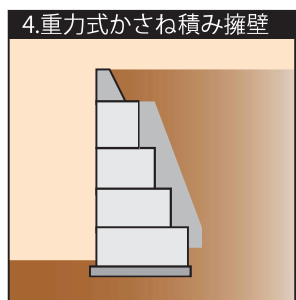
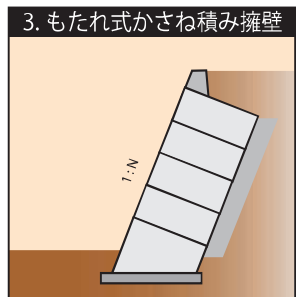
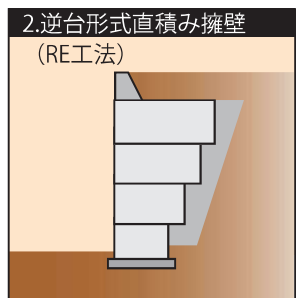
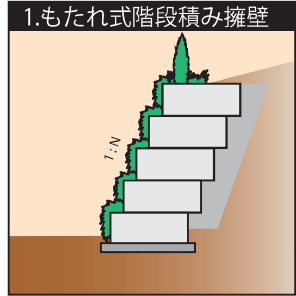
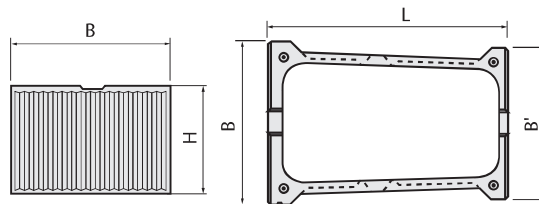
■もたれ式擁壁タイプ施工例



■重力式擁壁タイプ施工例



■緑化擁壁タイプ施工例



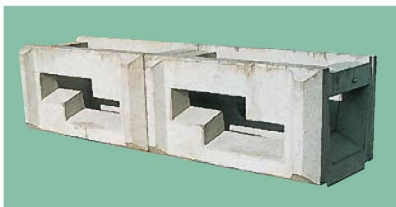
呼び名	寸法(mm)				参考質量(kg)	備考
	B	H	B'	L		
L型タイプ	1500	1000	1450	1000	880	H=500mm
		1500			1110	
1000 半高		500			650	
1000	1500	1000	1450	1000	1230	
1400			1430	1400	1345	
1800			1410	1800	1490	
2200			1390	2200	1610	
2600			1370	2600	1730	
3000			1350	3000	2000	

- 控え長L=3500型, L=4000型もございます。営業担当者へお問い合わせください。
- 天端用L型タイプもご用意しています。

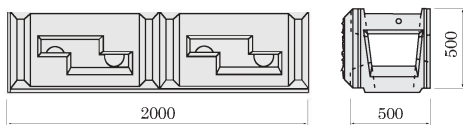


# どじょっこふなっこ

## 特長

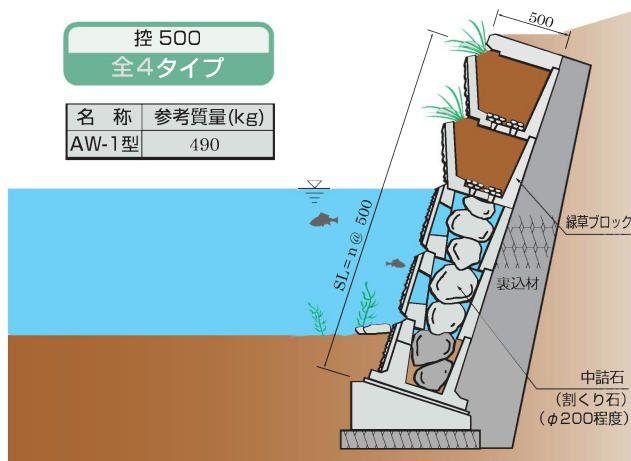


- どじょっこふなっこは、魚類の生態系を壊さずに河川及び用水路護岸としての機能を備えた魚巢ブロックです。
- ブロックの空洞内部に割りぐり石を投入する事により、石と石との隙間が稚魚や小魚の棲みかとしてちょうどよい空隙となります。
- 中詰石として既設の石垣等を利用することで、石底部に苔・藻・水草等がより早く繁茂し、プランクトンの増殖を促します。
- 前面突起により、僅かな水流渦が発生してブロック内の水質浄化が行われるとともに、回遊魚の集合が図れます。



控 500  
全4タイプ

名称	参考質量(kg)
AW-1型	490



## 特長



- 緑生擁壁は、法面の緑化と土留めを兼ねたブロックです。
- 隣接ブロック間に差筋を入れ、胴込コンクリートを打設する練積構造で、土圧、不等沈下及び地震等に対して有効です。また、ブロック間の目地離れもなく、中詰土の流出による土の空洞化を防止し、樹木の成育を妨げません。
- 擁壁高5m以上の時は、必要に応じて胴込コンクリートに鉄筋を入れることでより強固な擁壁が築造可能になります。
- 岩壁の切取面でも緑化ができ、土羽面は、吸音効果に優れ、騒音から周辺環境を守ります。

控 350 ~ 800  
全3タイプ

名称	参考質量(kg)
I型	443

